



身障秋田

発行人／社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会会長 大島 恭介
事務局／秋田市旭北栄町1-5 TEL／(018) 864-2780 FAX／(018) 864-2781 平成12年1月1日発行

年頭の「こあいさつ

秋田県身体障害者福祉協会

会長 大島 恭介

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族お揃いで新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

長引く不況により、福祉をとりまく社会経済情勢が大きく変化し、これに伴って福祉に対する意識が変わり、そのニーズも多様化してきております。

国では、昨年来、社会福祉の基礎構造改革に取り組んでおり、社会福祉事業法を改正する意向であるときいておりますが、障害者に対する環境は一層の厳しさを増していると思えます。

こうした中で、当協会としましては、今後障害者問題に対する県民の理解と協力を得ながら、各団体等と連携を深め、障害者の自立更生と社会参加活動の促進を図ると共に、障害者福祉の向上にい

つそう努力するものであり、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

さて、平成十一年度の当協会の事業は、ほぼ順調に実施されておりますことに対しまして、役員の皆様をはじめ会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

昨年の全国身体障害者スポーツ大会（熊本大会）においては、前回に続き、当県選手の二名が大会新記録を出し、その他の選手も期待以上の成績を収めることができました。私、団長として感激のうちに帰秋しました。

秋田県においても、障害者スポーツ協会を設立するべく、昨年より実行委員会を設立して話し合われているところであります。各市町村協会の中でスポーツをやっておられる方（団体・個人等）がおられましたら、当協会にお知らせ願います。

ところで、今年は、当協会が設立されて五十周年、また社会福祉法人となって十周年の年であり

ます。当協会と共に歩んで来られた歴代の会長さんをはじめ役員・会員の方々のご苦労に対し、改めて敬意を表すものであります。

また、この機会に、もう一度組織の原点を見直し、会員同士が相互理解を深め、障害を持つ人も持たない人も共に暮らせる明るい地域社会の実現と、「ノーマライゼーション」の理念に基づき、すべての人々に理解されることが肝要かと思えます。

今後、時代の変化に伴い、改革するところを改革し、当協会の特色を充分に発揮し、地域福祉のネットワークシステムへ積極的に参画するという位置づけを明確にすることが何よりも重要であると思えます。

終わりに、会員皆様のご多幸とご健勝、並びに、各市町村協会がありますのでご発展を祈念して年頭の挨拶といたします。

ハートフルくまもと大会 秋田県選手が大活躍

第三十五回全国身体障害者スポーツ大会（ハートフルくまもと大会）が十一月六日（土）、七日（日）の二日間、熊本県民総合運動公園陸上競技場を主会場に開催されました。

全国から選手・役員約二、三〇〇名が参加しました。秋田県からは選手・役員二十三名が参加し、このうちの選手十一名は、それぞれの種目で大活躍をし、金メダル七個（大会新二）、銀メダル六個、銅メダル六個という輝かしい記録を残しました。出場選手の成績は表のとおりです。

出場選手成績表

氏名	住所	出場種目	順位	出場種目	順位
猪俣 淳	本荘市	60m走	1位	立幅跳び	1位
伊東高志	秋田市	1,500m	2位	400m走	2位
今井英明	能代市	砲丸投げ	1位	水泳(100m自由形)	1位(大会新)
三浦良明	矢島町	200m走	2位	100m走	5位
市川吉五郎	藤里町	ソフトボール投	3位	砲丸投げ	1位
加藤 哲	秋田市	卓球	2位	走幅跳	3位
近藤猪八郎	琴丘町	砲丸投	3位	やり投げ	2位
伊藤 司	秋田市	ソフトボール投	1位	水泳(25m自由形)	2位(大会新)
佐藤留梨	秋田市	卓球	4位	水泳(25m平泳ぎ)	3位
佐藤悦子	鹿角市	ソフトボール投	3位	60m走	1位
大沼利恵子	湯沢市	盲人卓球	4位	ソフトボール投げ	3位

平成十一年度「障害者福祉展」 五二二点の力作を展示

第十五回目の障害者福祉展が、二月三日～五日に秋田県社会福祉会館において開催されました。

今年も、各地区の身障協会、施設、養護学校などの皆さんからたくさんの方々が寄せられ、会場いっぱい展示となりました。

また、作品の展示のほかに、お茶の点前披露、即売コーナーが設けられ、障害者をはじめ関係者の人達で賑わいました。出品作品数はそれぞれ次のとおりです。

- 身体障害者の部 一九九点
 - 知的障害者の部 二一六点
 - 精神障害者の部 九七点
- また、身体障害者の展示作品のうち、入賞者は次のとおりです。

◇秋田県知事賞◇

千葉 保（大館市）写真「風景」

◇秋田県身体障害者福祉協会会長賞◇

加賀谷敏一（更生訓練センター）

手芸「木工」

◇金賞◇

高橋一夫（中仙町）

絵画「禽獣の視線が少女の片腕へ」

珍田幸一（増田町）書

三浦勝雄（金浦療護園）

手芸「マリンドレック」

◇奨励賞◇

国安光斌（秋田市）絵画

三浦昇（更生訓練センター）陶芸
佐々木秀雄（桐ヶ丘療護園）
絵画「冬」

米沢久之助（雄高園）写真「落花」

高橋レイ（湯沢市）書

工藤正美（能代市）書「揚雄頌」

工藤一郎（大館市）書「般若心経」

工藤金男（大館市）
絵画「アクリル肖像画」

手芸クラブ（あすなろ）
絵画「月明かりの桜」

伊藤正一（南外村）手芸「文化刺繍」

高等部（秋田養護学校）

アイデア「わたしたちの家」

佐藤 薫（はまなす園）書「薫」

大島県身障協会長ら三氏 厚生大臣表彰を受賞

去る十二月八日に、厚生省において、身体障害者協会関係の次の三氏が厚生大臣表彰を受賞されました。

○大島恭介県身体障害者福祉協会長
（更生援護功労者）

○内藤幸蔵能代市身体障害者協会長
（更生援護功労者）

○高橋彦安大曲市身体障害者福祉協会副会長
（自立更生者）

当日は、授賞式の後、皇居において、天皇・皇后両陛下に拝謁し、表彰者を代表して、大島会長が謝辞を述べています。

まことに、おめでとうございます。

身体障害者相談員 全国連絡協議会 十一年九月にスタート

日本身体障害者団体連合会により準備がすすめられていた「身体障害者相談員全国連絡協議会」の設立総会が、十一年九月二日に開催され、同協議会が正式に結成されました。

この協議会は、身体障害者相談員事業に関わる諸問題の協議・検討、情報交換、資質向上、相談員活動の振興等を目的としたものです。

当県には、まだ、こうした協議会が結成されていませんので、県レベルの協議会を作ることが急務となっております。

日身連小規模作業所 全国連絡協議会 十一年十二月にスタート

日身連が準備をすすめてきた「日身連小規模作業所全国連絡協議会」の設立総会が、十一年十二月二十日に開催され、同協議会も正式に結成されました。この協議会の目的は、小規模作業所にかかわる諸問題の協議・検討、情報交換、資質向上、本事業の振興等となっております。

当県の小規模作業所の加入については、現在、一部調整中です。